

## 概要

Oracle が提供している Oracle クライアント。  
管理の機能やスキーマのコピーなどの機能が充実している。

## ポータブルの設定

<https://moizmuhammad.wordpress.com/2015/06/11/how-to-install-a-portable-oracle-sql-developer-in-windows/>

### 注意

ポータブルの設定をしても、ユーザホーム \AppData\Roaming\sqldeveloper が作成されるので注意。

### 設定

1. Oracle SQL Developer を任意のパスにコピーする
2. ユーザディレクトリを設定する
3. コピー先 \sqldeveloper\bin\sqldeveloper.conf を編集する
4. AddVMOption -Dide.user.dir=../profile を追加
5. JDK を同封する場合
  1. コピー先 \JDK を作成する。
  2. JDK や JRE をインストールせずに解凍するを参考に解凍した Java をコピー先 \JDK にコピーする

## フォントの設定

<http://www.thatjeffsmith.com/archive/2013/12/how-to-change-the-ui-font-size-for-oracle-sql-developer/>

### フォントサイズ

SQL Developer のプロファイルの ide.properties ファイルの

```
Ide.FontSize
```

を変更する。

ide.properties ファイルは

```
/.sqldeveloper/system4.0.0.13.80/o.sqldeveloper.12.2.0.13.80/ide.properties
```

などのようなパスにある。grep Ide.FontSize で検索するとよい。

### アンチエイリアス

product.conf に JVM のオプションを追加する。

例

```
AddVMOption -Dswing.aatext=true  
AddVMOption -Dawt.useSystemAAFontSettings=lcd
```

product.conf は

```
/.sqldeveloper/4.0.0/product.conf
```

などのようなパスにある。